

浦幌町立博物館だより

2023(令和5)年10月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉info@museum-urahoro.jp



今年も博物館実習が終了



9月9日の博物館実習生発表会を終えた今年度の実習生たち

今年は4名の学生が博物館実習を受講

学芸員の資格を取得するため、大学生が実際に博物館で実務を経験する「博物館実習」を、浦幌町立博物館でも毎年受け入れています。今年度は、帯広畜産大学から3名、酪農学園大学大学院から1名の、計4名の学生が、当館で実習を受けました。

今年から新たに、休館日である月曜日にも、休館日でなければできない展示室のメンテナンスなどを実習に採り入れました。

9月1日から10日までの実習で、さまざまな体験をした学生たちに、実習の感想をひとつひとつ寄せてもらいましたので、ご紹介します。

「学芸員の幅広いお仕事を知り、地域の人とかかわる活動が多くて楽しかったです」

(帯畜大：大原瑛姫)

「博物館や地域の方々为本当に温かく、浦幌町が大好きになりました」

(帯畜大：田中雪)

「皆さんの優しさと温かさで実習が本当に楽しかったです。そして浦幌町が大好きになりました」

(帯畜大：中村奈三)

「実習の10日間、浦幌町内外たくさんの人にお会いしながら朝から晩まで学ぶ毎日は、とても貴重で新鮮でした」

(酪農大・院：長根由紀子)

(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)



休館日の月曜日に常設展示室のメンテナンスを実施。ガラスケースの中の資料の入れ替えや、照明交換などを実習しました。



「オオアワダチソウをどんどん抜くぞ!」のあと、詳細な植生調査を実施して、今後の植生管理の基礎データを集める実習も。

「博物館の収蔵資料から

こんな資料を集めています!

キタキツネの毛皮



当館にはまだキタキツネの剥製(標本)がありませんが、代わりにキツネの毛皮を寄蔵いただきました。動物に関する授業で活用します。(浦幌町立博物館学芸員 持田誠)

Pick up BOOK [注目の本]

図書館から

『マンガでわかるイーロン・マスクの起業と経営』

桑原 晃弥 監修 / ちゃぼ 漫画 スタンダード株式会社

2022年12月10日発行



現在、世界的に有名な実業家の一人として知られるイーロン・マスクって名前には聞いたことあるけれど、どんな人?

昨年の4月に匿名性SNSのTwitterを買収し、今年にはXと改名したりするなど近年とても話題の多い人物です。

そんな彼の幼少期から往年期に至るまでの半生を通して、いかにして企業を大きく成長させてきたか、道のりが、マンガを織り交ぜながら紹介されています。

起業・経営に興味のある方のみならず、名前だけは知っているがどんな人か知らない方におすすめの一冊です。

【配架場所】
社会科学
分類 335.1マ

(浦幌町立図書館 司書 山崎 菜摘)



10月の博物館お知らせ

企画展

雑作家 Junya 写真展

LOVE CITY 街の呼吸

9月30日(土)



10月29日(日)

10:00~18:00

場所:博物館特別展示ホール



モニタリングサイト1000里地調査

豊北植物調査会

日時: 10月7日(土) 9:00~12:00

集合: 浦幌町立博物館

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

※自家用車利用の方は申込不要です。

毎月第1土曜日に開催している月例調査観察会です

展示解説

ギャラリートーク「街角談話」

10月9日(月・祝) 14:00~15:00

雑作家 Junya × 持田誠

入場無料・申し込み不要



開催中の企画展「LOVE CITY 街の呼吸」について作者の雑作家Junya氏にお話を伺います。

文化財

厚内文化財めぐり

10月21日(土) 12:30~16:00

場所: 厚内地区の文化財・史跡

集合: JR厚内駅前 12:30集合/16:00解散予定

定員: 8名(電話・メールで申込受付)

厚内地区の文化財や史蹟を巡ります。

厚内駅出発 → 旧斎藤牧場事務所 → 太子寺 → 厚内神社 → 昆布刈石駅通跡・十勝オコッペ遺跡 → 乙部川鉄橋 → 史跡オタフンベチャシ → 厚内駅到着

浦幌駅・厚内駅の写真や思い出を集めています

今年は、1903(明治36)年12月25日に、十勝で初めての鉄道が音別~浦幌で開通し、浦幌駅と厚内駅が開業してから、ちょうど120周年という年です。

博物館では、祝賀行事や企画展示を計画していますが、これに伴い、浦幌駅や厚内駅の思い出、写真などを募集中です。

思い出は一言だけでも結構です。写真は撮影年月日(およそで結構です)、撮影者名などと共に、博物館まで、持参・郵便・メールでお寄せください。展示に使わせていただきます。



浦幌駅での最後の分割(切り離し)作業 (2016年3月25日 撮影:持田誠)



入館料: 無料

開館時間: 10:00 ~ 18:00

バリアフリートイレ完備
車いす常備

多言語化表記には未対応

学芸員: 1名配置

展示解説の申込み、レファレンス、資料調査等は事前に電話かメールにてお申し込みください。

10月 休館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

休館日: 月曜日・祝日の翌日

10月31日(火)は、資料整理休館日です。



JR根室本線浦幌駅下車徒歩8分
帯広駅より普通列車...約1時間
池田駅より普通列車...約30分
釧路駅より普通列車...約2時間
鉄道のご利用が便利です!

【運賃】

帯広~浦幌間 1290円(片道)
釧路~浦幌間 1680円(片道)

駐車場無料

帯広市より国道38号線約1時間
釧路市より国道38号線約1時間半
道東自動車道浦幌ICより約50分



浦幌町立博物館
The Historical Museum of Urahoro

お申し込み・お問い合わせ: 電話 015-576-2009
〒089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1(図書館併設・役場となり)
E-mail: info@museum-urahoro.jp / https://museum-urahoro.jp